

< 新規就農者の確保又は認定農業者の育成を実施している事例 >

次世代の担い手育成について

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	長崎県大村市今村町 ^{いまむらまち} 硯出石 ^{すつでいし}			
協定面積 26.8ha	田 (33%) 水稻	畑 (67%) みかん	草地	採草放牧地
交付金額 391万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	農道・水路維持管理費及び周辺隣地下草刈り 先進地視察 その他		23% 12% 15%
協定参加者	農業者25人、非農業者6人			

2. 取組に至る経緯

当地区は、後継者と思われる若手のほとんどが、企業等へ勤めに出ているサラリーマンであるため、農業従事者は60歳を超える高齢者ばかりである。

そのため、将来的には離農する農家が増えることが予想されることから、後継者と思われる人達に農業のやりがいや、集落を維持する大切さを伝えることが課題となった。

そのきっかけ作りとして本制度を活用し、共同作業や集落の催し物に参加することが集落の活性化になり、次の担い手育成にもつながると考え「硯出石集落」を結成することとした。

3. 取組の内容

現在までの取組内容としては、草刈り機、チェーンソー等をこの中山間集落で購入し、共同取組として農道、水路等の維持管理に努めている。

また他集落との共有ではあるが、農産物直売所に地場産農産物を出荷し、販売も行っている。

また、新たな取組として、後継者と思われる人達により炭窯造りを行っているが、その視察研修等にも多数の参加者が集まり今後意欲的な参加が期待される。



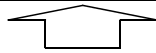
炭窯作成



農産物直売所

[集落の将来像]

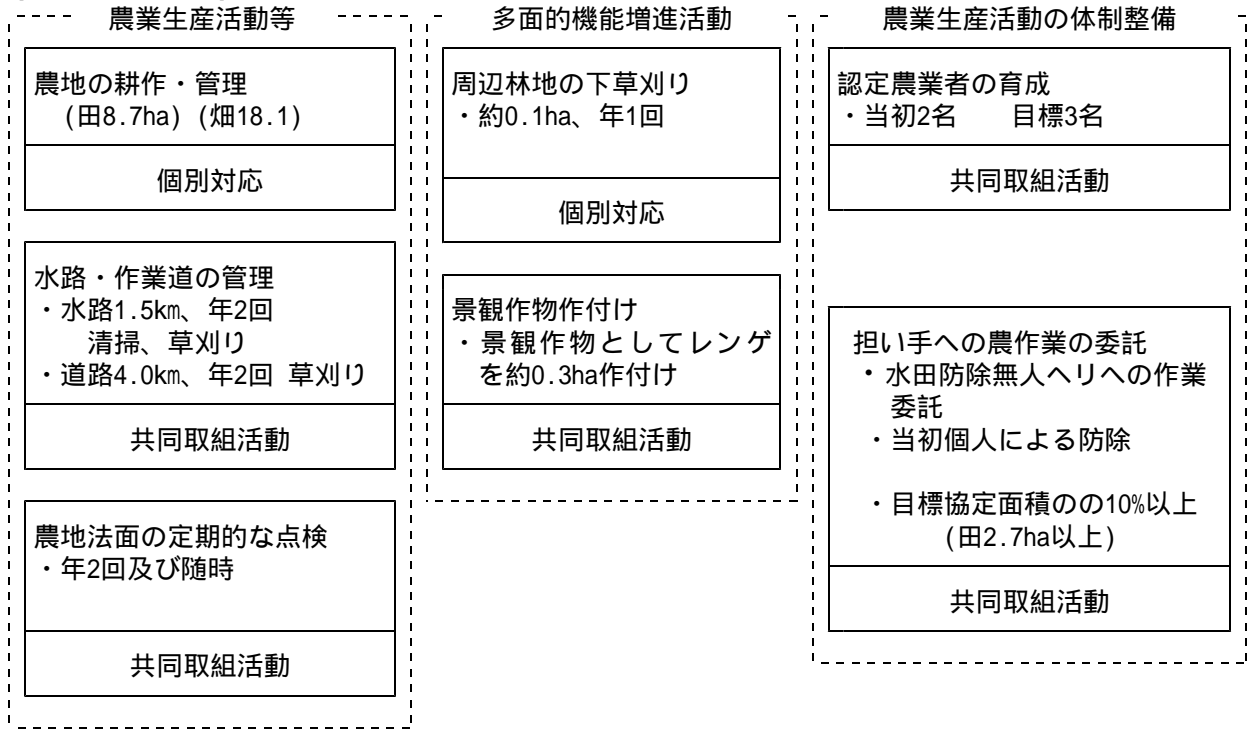
硯出石集落でも急速な高齢化が進んでおり、そのような中で本制度を利用し、後継者と思われる方々に農業への理解を深めてもらい、次世代の担い手になるような取組を行っていききたい。



[将来像を実現するための活動目標]

現在、本制度の利用により水路、農道の管理も共同作業によりスムーズに行われている。
しかし、今後急速に高齢化が進み厳しい状況が予想される中で、後継者予備軍に共同作業や研修など積極的に参加してもらい、将来の担い手として繋がっていきけるように取り組んでいきたい。

[活 動 内 容]



4 . 取組による変化と今後の課題等

共同利用ではあるが、農産物直売所ができたことにより、今まで「みかん」中心の栽培形態であったが、野菜、花等の栽培も増え、作る楽しさを実感する場が確保できたのではないかと思う。

今後は、漬け物の加工所を建設し、商品開発、出荷、販売に進んでいきたいと考えている。

また炭窯を完成させ、子供達や都市住民との交流を目指したい。

[平成20年度までの主な成果]

認定農業者育成 (当初2名 目標3名 H20実績3名)
 担い手への農作業の委託
 (当初 水田個人による防除 目標 無人ヘリ防除 2.7ha H20実績6ha)
 炭窯造り参加農業後継候補者 H19参加者 13名 H20参加者 10名